News Release

平成２３年３月４日
消　　費　　者　　庁

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

１．ガス機器・石油機器に関する事故　　４件
（うちガスコンビネーションレンジ（都市ガス用）１件、
開放式ガス瞬間湯沸器（ＬＰガス用）１件、ガス栓（ＬＰガス用）１件、
石油ふろがま１件）

２．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因が疑われる事故　　２件
（うち電気ストーブ１件、温水洗浄便座１件）

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、
製品起因か否かが特定できていない事故　　１１件
（うち電気蓄熱式湯たんぽ１件、ジュースミキサー１件、ＩＨ調理器１件、
蛍光ランプ１件、空気清浄機１件、シュレッダー１件、
エアコン（室外機）１件、電気ストーブ（カーボンヒーター）１件、
テレビ（ブラウン管型）１件、電気冷蔵庫１件、
電気ストーブ（ハロゲンヒーター）１件）

４．製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議（※）において、審議を予定している案件
該当案件無し

１．～４．の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者委員会消費者安全専門調査会製品事故情報の公表等に関する調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

５．留意事項
これらは消費生活用製品安全法第３５条第１項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません（管理番号A201001015を除く。）。
本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進

展等により、変更又は削除される可能性があります。

６．特記事項

(1)アイシン精機株式会社が製造し、アイシン精機株式会社及び株式会社ＩＮＡＸが販売した温水洗浄便座について（管理番号A201001015）

①事故事象について

アイシン精機株式会社が製造した温水洗浄便座において、当該製品から発煙する火災が発生し、当該製品が焼損、周辺が汚損しました。

当該事故の原因は、長期間の使用により便座電気コードが断線・発熱し、発煙に至ったと考えられます。

②再発防止策について

製造事業者であるアイシン精機株式会社は、長期間の使用により暖房便座部分が暖まらない等の故障状態のまま使用を続けた場合、便座電気コードが断線・発熱するおそれがあるため、同社が直接販売した製品については、平成２０年１１月２６日にプレス公表を行い、平成２０年１２月３日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。また、販売事業者である株式会社ＩＮＡＸにおいては、平成２０年１１月２６日にプレス公表を行い、平成２０年１１月２７日に新聞広告を掲載し、長期間使用されている対象製品の使用に関する注意喚起を行うとともに、対象製品について不具合確認作業を無償で実施しています。

③対象製品等：製造事業者、製品名、型番、製造年、点検対象台数

◆株式会社ＩＮＡＸが販売した製品

ブランド名	製品名	型番	製造年	点検対象台数
株式会社 ＩＮＡＸ	シャワートイレ CW100シリーズ	CW130,CW131, CW110,CW111, CW100,CW101, CW130P,CW131P, CW110P,CW111P, CW100P,CW101P	1988年(昭和63年)から1998年(平成10年)	144,765
	シャワートイレ CW500シリーズ	CW530,CW531, CW530T,CW531T, CW530R,CW531R, CW530K,CW531K, CW530F,CW531F	1988年(昭和63年)から1991年(平成3年)	159,211
	シャワートイレ ＨＩ	ＨＩ,ＨＩＮ ＨＩＦ,ＨＩＫ, ＨＩＲ,ＨＩＳ	1986年(昭和61年)から1988年(昭和63年)	78,402
	シャワートイレ (サニタリーナ) ＣⅡ	ＣⅡ,ＣⅡＦ, ＣⅡＸ,ＣⅡＦＸ	1982年(昭和57年)から1988年(昭和63年)	65,917
	シャワートイレ (サニタリーナ)	ＦⅢ,ＦⅢ障害者, ＦⅢＦ,ＦⅢＫ	1983年(昭和58年)から1988年	80,250

	ＦⅢ		(昭和63年)	
	シャワートイレ ＥⅡ	ＥⅡ,ＥⅡF,ＥⅡC,ＥⅡCF	1986年(昭和61年)から1988年(昭和63年)	38,855
	シャワートイレ ＤＩ	ＤＩ,ＤＩF,ＤＩＫ	1984年(昭和59年)から1989年(平成元年)	17,051
日本総合住生活株式会社	ＪＳ シャワートイレ (CW100ベース)	JSCW-130	1994年(平成6年)から1997年(平成9年)	2,218
ブラザー工業株式会社	シャワーベンザ WS-101 (ｼｬﾜｰﾄｲﾚＥⅡﾍﾞｰｽ)	WS-101	1986年(昭和61年)	700
松下電工株式会社 （現　パナソニック電工株式会社）	クリーンシャワレＨ (ｼｬﾜｰﾄｲﾚＦⅢﾍﾞｰｽ)	CH5452	1986年(昭和61年)から1988年(昭和63年)	185
	クリーンベンザＨＡ (ｼｬﾜｰﾄｲﾚＨＩﾍﾞｰｽ)	CH5462	1986年(昭和61年)	509
合　　計				588,063

◆アイシン精機株式会社が販売した製品

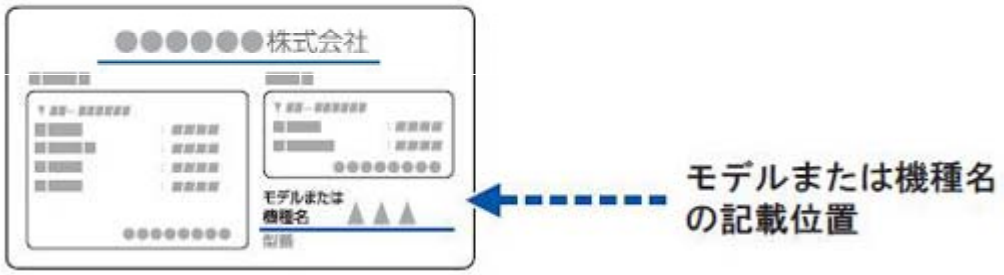
ブランド名	製品名	型番	製造年	点検対象台数
アイシン精機株式会社	温水洗浄便座	18,18F,28,28F	1988年(昭和63年)から1993年(平成5年)	1,011
積水化学工業株式会社	シャワー便座	ASB01	1987年(昭和62年)から1988年(昭和63年)	1,309
	シャワー便座	ASE01	1989年(平成元年)から1993年(平成5年)	780
株式会社長府製作所	温水洗浄器	S-1,S-2	1983年(昭和58年)から1986年(昭和61年)	6,672
	温水洗浄器	S-32,S-42	1995年(平成7年)から1997年(平成9年)	1,699
	温水洗浄便座	S-11,S-21,S-31,S-41	1988年(昭和63年から1994年(平成6年)	3,823

株式会社マキタ電機製作所（現　株式会社マキタ）	温水洗浄トイレ	ST-100, ST-200	1986年(昭和61年)から1988年(昭和63年)	3,348
	温水洗浄トイレ	ST-110, S-210、ST-300, ST-400	1988年(昭和63年から1992年(平成4年)	2,126
合　　計				20,768

点検対象台数　６０８，８３１台
点検率　　１．４％（平成２３年２月２８日現在）

対象製品の確認方法
◆株式会社ＩＮＡＸが販売した製品

◆アイシン精機株式会社が販売した製品
（販売会社名と製品名を示したラベル例と、その貼付位置）



④消費者への注意喚起

当該製品を含むリコール対象製品をお持ちの方で、まだ製造事業者等の行う点検を受けておられない方は、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

また、便座電気コードが切れていないか、便座が温まらない不具合がないかを確認してください。もし、これらの不具合が確認された場合には、発煙・出火に至る場合があるため、電源プラグをコンセントからすぐに抜いてください。

なお、便座が割れている、ゴム足が外れている、ヒンジピンが外れているなどの状態で、便座を使用すると便座電気コードに余計な負荷がかかり、事故に至る可能性が高くなります。

（アイシン精機株式会社の問い合わせ先）
フリーダイヤル：０１２０－３３－００５６
受付時間：８時３０分～１２時、１３時～１７時３０分
（土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く。）
ホームページ：http://www.aisin.co.jp/news/d00142.html

（株式会社ＩＮＡＸの問い合わせ先）
フリーダイヤル：０１２０－１７９４－２７
受付時間：９時～１７時（土・日・祝日・年末年始・夏季休暇を除く。）
ホームページ：http://www.inax.co.jp/warnings/081126/

(2) ダイキン工業株式会社が製造した空気清浄機について（管理番号A201001013）

①事故事象について

ダイキン工業株式会社が製造した空気清浄機において、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生しました。事故の原因は、現在、調査中ですが、リコール事象の出火部

位ではありません。なお、当該事故の製品はリコール対策済品です。

②当該製品のリコールについて

当該製品を含む対象機種（下記）については、当該製品の電気集塵部の放電線が集塵フィルタに接触していたことから、助燃性（酸素を発生し、燃焼させやすくする性質）を持つ導電性のあるアンモニア合成物が集塵フィルタに付着した際に、集塵フィルタと脱臭フィルタの間で微少な放電が発生し、出火に至る事故が発生しています。また、別の事象として同社が製造した除・加湿空気清浄機において、除湿用ヒーターの熱と前述のアンモニア合成物の作用によって除湿機構部が高温になることも判明しました。これらを踏まえ、ダイキン工業株式会社は、平成２２年４月９日にプレスリリースを行い、使用者に周知し、対象製品について、平成２２年４月１０日から無償で点検・修理を実施しています。

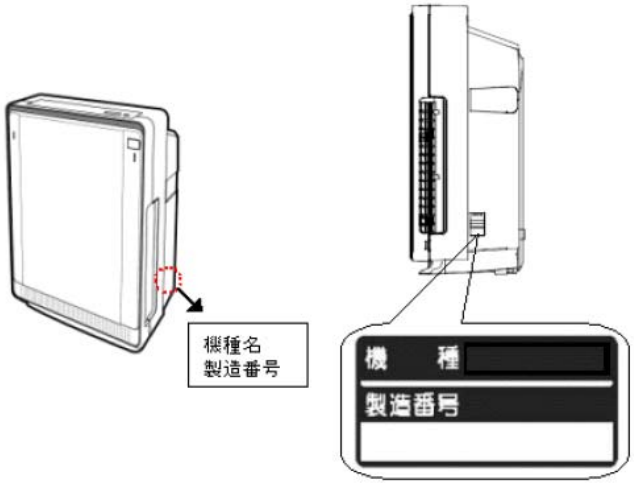
③対象製品等：対象製品、対象機種、製造期間、改修対象台数

対象製品	対象機種	製造期間	改修対象台数
空気清浄機（商品名:光クリエール）	ACM65TG-W、ACM75G-W、ACM75H-W、ACM75J-W、MC708J3-W、MC708K-W、MC708-W、MC709B-W、MC709J5W、MC709K-W、MC709Y-W、MC709-W、MC75JBB-W、MC75JJ6-W、MC75JKS-W、MC75JK-W、MC75JY-W、MC75J-W、MC808J3-W、MC808K-W、MC808-W、MC809B-W、MC809J5PW、MC809K-W、MC809Y-W、MC809-W、MCA70E3-W、MCA70E4-W、MCA75JE5-W、MCA80E3-W、MCA80E4-W（31機種）	2006年8月 ～ 2010年1月22日	616,199
加湿空気清浄機（商品名:うるおい光クリエール）	ACK75J-W、MCK75JBB-W、MCK75JE5-W、MCK75JJ6-W、MCK75JKS-W、MCK75JK-W、MCK75JY-W、MCK75J-W（8機種）		96,297
除・加湿空気清浄機（商品名:クリアフォース）	ACZ65J-W、MCZ659-W、MCZ65JE5-W、MCZ65JJ6-W、MCZ65JKS-W、MCZ65J-W、ACZ65K-W(対象製造番号:C000101～C011579) MCZ65KE6-W(対象製造番号:C000101～C003808) MCZ65KKS-W(対象製造番号:C000101～C004210) MCZ65K-W(対象製造番号:C000101～C006846) （10機種）		117,365
合　　計			829,861

改修率　　５２．７％（平成２３年２月９日現在）

対象製品の確認方法：下記の図を参考に対象の機種名、製造番号を確認してください。

※機種名、製造番号は製品側面または製品背面に表示があります。
機種によって、外観形状が異なっているので、機種名を確認してください。



④消費者への注意喚起
上記リコール対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償点検･修理を受けていない方は、使用を中止し、下記問い合わせ先に速やかに御連絡ください。

（ダイキン工業株式会社の問い合わせ先）
フリーダイヤル：０１２０－３３０－６９６
受付時間：２４時間受付
ホームページ：http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2010/100409/index.html
インターネットによる受付も行っております。

(3)燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）について
（管理番号A201001017）
①事故事象について
燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）において、当該製品が現場にあった火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコールについて
当該製品を含む対象機種（下記）については、当該製品の強弱切り替えスイッチに使用されているダイオードの部品不良により、異常発熱し、火災に至る事故が発生していることから、現在、以下のリコールを行っています。
燦坤日本電器株式会社は、本年２月１５日以降、対象製品について回収を行い、代替品への無償交換又は返金対応を実施する旨の告知を本年２月１０日、同社のホームページに掲載しています。

③対象製品等：製品名、機種、対象台数、表示製造年

製品名	機種	表示 製造年	回収対象台数
電気ストーブ （カーボンヒーター） ブランド名： ＥＵＰＡ（ユーパ）	ＵＨＣ－３Ｔ （色：ベージュ）	08年製 又は 09年製	１６，２６９
	ＵＨＣ－９Ｔ （色：ブルー）	07年製	１０，３０３
	ＴＳＫ－５３２８ＣＴ （２００７年製）	07年製	１，７６０
合　　計			２８，３３２

製品写真：

【左】ＵＨＣ－３Ｔ（色：ベージュ）
【中】ＵＨＣ－９Ｔ（色：ブルー）
【右】ＴＳＫ－５３２８ＣＴ

（確認方法）当該製品の裏面の型番を確認して下さい。

当該事業者は平成２０年４月２１日から下記の製品についてリコール対策を実施し、代替品としてＵＨＣ－３Ｔとの交換を行っていますが、これらの製品及び既に代替品として交換したＵＨＣ－３Ｔについても代替品への無償交換又は返金対応を実施します。

（カーボンヒーター）
ＴＳＫ－５３２８ＣＴ（２００５年製、２００６年製）
ＴＳＫ－５３２８ＣＲＩ（２００５年製、２００６年製）
ＴＳＫ－５３２８ＣＲＩ（２００５年製、２００６年製）
ＴＳＫ－５３２８ＣＲＩ（ＢＷ）（２００５年製）※販売元：株式会社バルス

（ハロゲンヒーター）
ＦＴ－９００Ｔ（２００６年製、２００７年製）※販売元：株式会社フィフティ

④消費者への注意喚起
当該製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問い合わせ先に御連絡ください。

（燦坤日本電器株式会社　電気ストーブ（カーボンヒーター）回収交換ダイヤル）
フリーダイヤル：０１２０－６００－５２７
受付時間：９時～１７時（土日祝日、年末年始を除く。）
ホームページ：http://www.tsannkuen.jp/tkj/jsp/tkj_web/TKJMain.jsp?id=2

⑤独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）の対応
燦坤日本電器株式会社以外の事業者が製造・輸入・販売した電気ストーブ（カーボンヒーター）のリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）においては、平成２３年２月２５日より「電気ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか！？」として事故防止のための注意喚起チラシをホームページに掲載し、消費者に対して、速やかに事業者に連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

（独立行政法人製品評価技術基盤機構（ＮＩＴＥ）による注意喚起）
ホームページ：http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/
recall_denki_110225.pdf

（本発表資料の問い合わせ先）
消費者庁消費者安全課
（製品事故情報担当）　担当：小林、中嶋、榎本
電話：03-3507-9204（直通）
（事故情報対応チーム）担当：金児、滝
電話：03-3507-9146（直通）

（アイシン精機株式会社が製造し、アイシン精機株式会社及び株式会社ＩＮＡＸが販売した温水洗浄便座についての発表資料に関する問い合わせ先）
（ダイキン工業株式会社が製造した空気清浄機についての発表資料に関する問い合わせ先）
（燦坤日本電器株式会社が輸入した電気ストーブ（カーボンヒーター）についての発表資料に関する問い合わせ先）
経済産業省商務流通グループ製品安全課製品事故対策室
担当：宮下、吉津、山﨑　　電話：03-3501-1707（直通）

■消費生活用製品の重大製品事故一覧　　別　紙

1．ガス機器・石油機器に関する事故（製品起因か否かが特定できていない事故を含む）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201001019	平成23年2月21日	平成23年3月1日	ガスコンビネーションレンジ（都市ガス用）	NE-BB88	松下住設機器株式会社(現　パナソニック株式会社）	火災	当該製品のコンロで湯を沸かした後、しばらくして、発煙に気付き確認すると、当該製品下部から発煙する火災が発生しており、当該製品が焼損した。事故以前からオーブン機能が故障していた状況や、事故前日に当該製品のコンロで湯を沸かしていた際に、大量のふきこぼれが発生した状況も含め、現在、原因を調査中。	東京都	
A201001020	平成23年2月17日	平成23年3月2日	半密閉式ガス瞬間湯沸器（LPガス用）	PH-16CWFL	パロマ工業株式会社（現　株式会社パロマ）	CO中毒軽症2名	当該製品を使用中に体の具合が悪くなり、一酸化炭素中毒の疑いで2名が病院に搬送された。空気吸気口の目詰まり、排気管の腐食、排気設備の管理状況も含め、現在、原因を調査中。	北海道	製造から15年以上経過した製品 平成23年2月22日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済 平成23年2月24日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201001021	平成23年2月18日	平成23年3月2日	ガス栓（LPガス用）	L-23B-12	株式会社藤井合金製作所	火災	当該製品に迅速継ぎ手を接続して、ガス炊飯器を使用後、近傍に設置されていたガスこんろに点火したところ、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	岐阜県	平成23年2月21日に経済産業省原子力安全・保安院にて公表済 平成23年3月3日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201001022	平成23年2月3日	平成23年3月2日	石油ふろがま	JPS	株式会社長府製作所	火災	浴槽に水を張り、しばらくして当該製品で風呂を焚いたところ、異臭がしたため確認すると、空焚き状態となって火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。空焚きとなった状況も含め、現在、原因を調査中。	岩手県	製造から20年以上経過した製品 事業者が事故を認識したのは、2月21日

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201001010	平成23年2月15日	平成23年2月28日	電気ストーブ	DS-800U（株式会社山善ブランド）	株式会社ミュージーコーポレーション（株式会社山善ブランド）（輸入事業者）	火災	当該製品を使用中、外出したところ、火災報知機が鳴動したため隣人が確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品及び周辺が焼損した。現在、原因を調査中。	神奈川県	
A201001015	平成23年2月19日	平成23年2月28日	温水洗浄便座	CW-101（株式会社INAXブランド）	アイシン精機株式会社（株式会社INAXブランド）	火災	火災報知機が鳴動したため確認すると、当該製品から発煙する火災が発生しており、当該製品が焼損、周辺が汚損した。 事故原因は、長期間の使用により、便座電気コードが断線・発熱し、発煙に至ったと考えられる。	群馬県	平成20年11月27日からリコールを実施 改修率　1.4% 平成23年3月3日に消費者安全法の重大事故等として公表済

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201001008	平成23年2月14日	平成23年2月28日	電気蓄熱式湯たんぽ	重傷1名	当該製品に湯たんぽカバーを装着せず、電源プラグをコンセントに接続した状態で蓄熱充電していたところ、当該製品の袋部分が破れ、内容物が漏れ、火傷を負った。当該製品の取扱説明書で禁止されている蓄熱充電状態での使用を継続的に行っていた可能性も含め、現在、原因を調査中。	兵庫県	平成23年3月3日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201001009	平成23年2月8日	平成23年2月28日	ジュースミキサー	重傷1名	当該製品のミル容器を手で押さえたまま電源を入れたところ、ミル容器が外れ、回転しているモータークラッチに指が接触し、負傷した。ミル容器が外れた状況も含め、現在、原因を調査中。	福岡県	
A201001011	平成23年2月15日	平成23年2月28日	IH調理器	火災	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	長崎県	
A201001012	平成23年2月7日	平成23年2月28日	蛍光ランプ	火災	当該製品を点灯中、異臭がしたため確認すると、当該製品及び周辺が焼損する火災が発生していた。当該製品を取り付けた照明器具の基部が断熱材と接触した形で施工されており、熱が逃がせなくなっていた状況も含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	
A201001013	平成23年1月25日	平成23年2月28日	空気清浄機	火災	当該製品の電源プラグを接続していたコンセントが焦げていたため、電源プラグを抜いたところ火花が生じる火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。当該製品から出火したのか、コンセントから出火したのかも含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者が事故を認識したのは、2月17日 事業者名： ダイキン工業株式会社 （輸入事業者） 機種・型式： MCZ659-W 平成22年4月9日からリコールを実施 改修率　52.7% 当該事故は製品起因か否か特定できていないものである 当該製品のリコールを着実に促すため事業者名及び機種・型式を公表するもの なお、当該事故の製品はリコール対策済品である

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故（続き）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201001014	平成23年2月16日	平成23年2月28日	シュレッダー	火災	当該製品の細断部のみを本体から外して使用し、紙詰まりをそのままにしていたところ、当該製品の細断片出口付近から出火する火災が発生し、当該製品及び周辺が焼損した。当該製品にエアースプレーを使用していた可能性もある。現在、原因を調査中。	神奈川県	平成23年3月3日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201001016	平成23年2月19日	平成23年2月28日	エアコン（室外機）	火災	発煙及び異臭に気付き確認すると、当該製品から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。事故以前に破損したキャビネットから雨水等が浸入した可能性も含め、現在、原因を調査中。	奈良県	製造から10年以上経過した製品 平成23年3月3日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201001017	平成23年2月14日	平成23年3月1日	電気ストーブ（カーボンヒーター）	火災	当該製品が焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	東京都	事業者名： 燦坤日本電器株式会社 （輸入事業者） 機種・型式： UHC-3T 平成23年2月10日からリコールを実施 当該事故は製品起因か否か特定できていないものである 当該製品のリコールを着実に促すため事業者名及び機種・型式を公表するもの
A201001018	平成23年2月1日	平成23年3月1日	テレビ（ブラウン管型）	火災	建物が１棟全焼し、１棟が類焼する火災が発生した。現場に当該製品があった。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	長崎県	製造から10年以上経過した製品

３．ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故（続き）

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201001023	平成23年2月21日	平成23年3月2日	電気冷蔵庫	火災	当該製品及び周辺が焼損する火災が発生した。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	京都府	
A201001024	平成23年2月19日	平成23年3月2日	電気ストーブ（ハロゲンヒーター）	火災	当該製品を使用中、異常に気付き確認すると、当該製品の電源コード部から出火する火災が発生しており、当該製品が焼損した。当該製品の電源コードが断線していた状況も含め、現在、原因を調査中。	富山県	

４．製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故公表等調査会及び第三者委員会合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し

電気ストーブ（管理番号：A201001010）

温水洗浄便座（管理番号：A201001015）